



2025年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東
コード番号 6464 URL <https://www.tsubaki-nakashima.com/jp/>
代表者（役職名）取締役兼代表執行役社長CEO（氏名）松山 達
問合せ先責任者（役職名）取締役兼執行役副社長CFO（氏名）上田 洋一（TEL）06-6224-0193
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	52,762	△9.5	891	△65.4	△807	—	△1,132	—	△1,130	—	△2,191	—
2024年12月期第3四半期	58,323	3.1	2,573	△7.4	1,583	△41.0	737	△38.1	738	△38.1	2,614	△72.3

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第3四半期	△29.07		△29.07	
2024年12月期第3四半期	18.54		16.43	

（注）前期より、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上収益、営業利益、税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しております。

（参考）EBITDA 2025年12月期第3四半期 3,589百万円（△29.1％） 2024年12月期第3四半期 5,062百万円

EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	171,111	58,605	58,571	34.2
2024年12月期	174,721	61,508	61,472	35.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2024年12月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 25.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

(70表示は、対前期増減率)									
	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,500	△5.8	1,000	22.9	△600	—	△800	—	△20.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一 、 除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年12月期 3 Q	41,599,600株	2024年12月期	41,599,600株
2025年12月期 3 Q	3,346,658株	2024年12月期	1,760,958株
2025年12月期 3 Q	38,880,389株	2024年12月期 3 Q	39,801,021株

(注) 期末自己株式数には「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式 (2025年12月期 3 Q 1,612,047株、2024年12月期 26,347株) を含めています。また、各信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の関税政策により不透明感が高まったものの、その後の主要国間の交渉により貿易摩擦が緩和され足元では安定した成長を維持しました。米国はサービス消費の低下による景気後退が懸念されましたが、減税や歳出削減を含む財政刺激策の導入と金融緩和により底堅く推移しました。欧州はユーロ圏の一部で成長の鈍化がみられるものの、安定した雇用環境やインフレ率の低下により堅調に推移し、中国も不動産開発投資の低迷が長期化する中、政府の景気刺激策による消費の下支えにより成長を維持しました。国内経済は米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら将来の見通しに目を向けると、世界で広がりを見せる保護主義的な政策の高まりや、不確実性を残す米国の関税政策、長引くウクライナ、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、前期よりボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い、非継続事業を除いた継続事業の数値を中心に報告いたします。

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、長引く自動車産業の低迷および価格競争等を起因とするマーケットシェアの下落により欧州地域での販売およびグローバルでセラミックボール、ローラーの販売が前年を大きく下回り、前年同四半期比9.5%減の52,762百万円となりました。

利益面につきましては、2025年2月17日に公表した新中期経営計画の施策の1つである調達・生産コストの削減に取り組んでいるものの、売上の減少、競合他社との価格競争及び人件費等の上昇により、営業利益は前年同四半期比65.4%減の891百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期と比較して1,868百万円減少し、1,130百万円の損失となりました。

セグメント別の業績を示すと以下のとおりです。

プレジジョン・コンポーネントビジネス

プレジジョン・コンポーネントビジネスの売上収益は、長引く自動車産業の低迷および価格競争等を起因とするマーケットシェアの下落により大きく減収となり、前年同四半期比9.6%減の52,129百万円となりました。セグメント利益は、調達・生産コストの削減に取り組んでいるものの、売上の減少、競合他社との価格競争及び人件費等の上昇により、前年同四半期比67.8%減の775百万円となりました。

ブロー・リアルエステイトビジネス

ブロー・リアルエステイトビジネスの売上収益は前年同四半期比0.1%増の633百万円となりました。セグメント利益は、人件費等の上昇により、前年同四半期比31.9%減の116百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ3,610百万円減少し171,111百万円となりました。これは主に、無形資産及びのれんが1,131百万円減少、その他非流動資産が1,614百万円減少したこと等により、非流動資産が3,938百万円減少したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ707百万円減少し112,506百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が1,277百万円減少したことによります。

資本につきましては、前期末に比べ2,903百万円減少し58,605百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,496百万円減少、為替換算調整勘定などのその他の資本の構成要素が808百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,205百万円の資金の増加となりました。主な要因としては、税引前四半期損失807百万円などの資金減少項目があったものの、棚卸資産の減少4,379百万円、減価償却費及び償却費2,709百万円、営業債権及びその他の債権の減少1,121百万円の資金増加要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出を主な要因とし、799百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出603百万円、配当金の支払額378百万円を主な要因とし、1,219百万円の資金の減少となりました。

これらに当第3四半期連結累計期間中の前期末と比べた円高進行を主な要因とする、118百万円の換算差額等を減算した結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は29,403百万円と前連結会計年度末と比べ6,069百万円の資金の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年2月17日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性のある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,060	29,205
営業債権及びその他の債権	20,685	19,111
棚卸資産	36,078	30,972
その他の流動資産	1,690	1,846
小計	81,513	81,134
売却目的で保有する資産	3,450	4,157
流動資産合計	84,963	85,291
非流動資産		
有形固定資産	36,695	35,928
無形資産及びのれん	41,511	40,380
その他の投資	251	38
繰延税金資産	3,097	2,884
その他の非流動資産	8,204	6,590
非流動資産合計	89,758	85,820
資産合計	174,721	171,111
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	6,366	6,045
社債及び借入金	11,356	11,655
未払法人所得税等	1,787	1,272
その他の流動負債	6,459	7,162
小計	25,968	26,134
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	780	823
流動負債合計	26,748	26,957
非流動負債		
社債及び借入金	81,294	79,718
退職給付に係る負債	2,176	1,924
繰延税金負債	1,409	1,464
その他の非流動負債	1,586	2,443
非流動負債合計	86,465	85,549
負債合計	113,213	112,506
資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	11,317	11,315
自己株式	△2,298	△2,901
その他の資本の構成要素	19,611	18,803
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	239	247
利益剰余金	15,486	13,990
親会社の所有者に帰属する持分	61,472	58,571
非支配持分	36	34
資本合計	61,508	58,605
負債及び資本合計	174,721	171,111

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
継続事業		
売上収益	58,323	52,762
売上原価	49,447	44,536
売上総利益	8,876	8,226
販売費及び一般管理費	6,227	7,544
その他の収益	178	228
その他の費用	254	19
営業利益	2,573	891
金融収益	309	280
金融費用	1,299	1,978
税引前四半期利益 (△損失)	1,583	△807
法人所得税費用	809	137
継続事業からの四半期利益 (△損失)	774	△944
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△損失)	△37	△188
四半期利益 (△損失)	737	△1,132
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	738	△1,130
非支配持分	△1	△2
四半期利益 (△損失)	737	△1,132
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	7	26
純損益に振り替えられない項目の合計	7	26
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	1,732	△1,101
キャッシュ・フロー・ヘッジ	143	△27
ヘッジコスト	△5	43
純損益に振り替えられる可能性のある項 目の合計	1,870	△1,085
税引後その他の包括利益	1,877	△1,059
四半期包括利益	2,614	△2,191

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,616	△2,189
非支配持分	△2	△2
四半期包括利益	2,614	△2,191
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
継続事業	19.45	△24.28
非継続事業	△0.91	△4.79
基本的1株当たり四半期利益(△損失)	18.54	△29.07
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失) (円)		
継続事業	17.09	△24.28
非継続事業	△0.66	△4.79
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)	16.43	△29.07

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年1月1日 残高	17,117	11,617	△2,616	0	22	12,774	△191
四半期利益(△損失)	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7	1,733	143
四半期包括利益	—	—	—	—	7	1,733	143
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	318	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△296	—	—	—	—	—
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	—	—	—	—	△195	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	—	—	—	—
金融負債からの再分類	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△296	318	△0	—	△195	—
2024年9月30日 残高	17,117	11,321	△2,298	0	29	14,312	△48

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計					
2024年1月1日 残高	175	12,780	—	15,209	54,107	35	54,142
四半期利益(△損失)	—	—	—	738	738	△1	737
その他の包括利益	△5	1,878	—	—	1,878	△1	1,877
四半期包括利益	△5	1,878	—	738	2,616	△2	2,614
剰余金の配当	—	—	—	△598	△598	—	△598
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	318	—	318
株式報酬取引	—	—	—	—	△296	—	△296
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	△195	195	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	△0	—	—	△0	—	△0
利益剰余金へ振替	—	—	—	—	—	—	—
金融負債からの再分類	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△195	195	△598	△576	—	△576
2024年9月30日 残高	170	14,463	195	15,349	56,147	33	56,180

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2025年1月1日 残高	17,117	11,317	△2,298	—	5	19,397	136
四半期利益(△損失)	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	26	△1,101	△27
四半期包括利益	—	—	—	—	26	△1,101	△27
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△603	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△2	—	—	—	—	—
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	—	—	—	—	△8	—
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	—	—	—	△32	—	—
金融負債からの再分類	—	—	—	291	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△2	△603	291	△32	△8	—
2025年9月30日 残高	17,117	11,315	△2,901	291	△1	18,288	109

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計					
2025年1月1日 残高	73	19,611	239	15,486	61,472	36	61,508
四半期利益(△損失)	—	—	—	△1,130	△1,130	△2	△1,132
その他の包括利益	43	△1,059	—	—	△1,059	0	△1,059
四半期包括利益	43	△1,059	—	△1,130	△2,189	△2	△2,191
剰余金の配当	—	—	—	△398	△398	—	△398
自己株式の取得	—	—	—	—	△603	—	△603
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	△2	—	△2
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	△8	8	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	—	—	—	—
利益剰余金へ振替	—	△32	—	32	—	—	—
金融負債からの再分類	—	291	—	—	291	—	291
所有者との取引額等合計	—	251	8	△366	△712	—	△712
2025年9月30日 残高	116	18,803	247	13,990	58,571	34	58,605

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	1,583	△807
非継続事業からの税引前四半期損失	△54	△195
減価償却費及び償却費	2,498	2,709
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	109	△324
受取利息及び受取配当金	△188	△187
支払利息	1,107	1,172
為替差損益(△は益)	△273	451
固定資産売却損益(△は益)	△77	△2
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	2,211	1,121
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△562	4,379
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,761	△267
その他	127	1,486
小計	4,720	9,536
利息及び配当金の受取額	188	187
利息の支払額	△996	△1,068
法人所得税等の支払額	△1,913	△450
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,999	8,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,628	△1,023
有形固定資産の売却による収入	79	3
無形資産の取得による支出	△55	△15
投資有価証券の売却による収入	—	234
その他	△2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,606	△799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△5,000	—
長期借入れによる収入	3,960	—
リース負債の返済による支出	△253	△238
配当金の支払額	△566	△378
自己株式の売却による収入	42	—
自己株式の取得による支出	—	△603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,817	△1,219
現金及び現金同等物に係る換算差額	279	△118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,145	6,069
現金及び現金同等物の期首残高	23,003	23,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,858	29,403

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレシジョン・コンポーネントビジネス」及び「フロア・リアルエステイトビジネス」の2つを報告セグメントとしております。「プレシジョン・コンポーネントビジネス」は、精密ボール、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。「フロア・リアルエステイトビジネス」はフロア、ファン等の送風機等の製造・販売・メンテナンス及び不動産の賃貸等を行っております。

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントです。

なお、前第3四半期連結累計期間においては「プレシジョン・コンポーネントビジネス」を報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度より「プレシジョン・コンポーネントビジネス」「フロア・リアルエステイトビジネス」を報告セグメントに変更しており、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。また、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の金額から非継続事業を控除しております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレシジョン・ コンポーネント ビジネス	ブローア・ リアルエステイト ビジネス			
売上収益					
外部収益	57,691	632	58,323	—	58,323
セグメント間収益	27	2	29	△29	—
連結収益合計	57,718	634	58,352	△29	58,323
セグメント利益	2,404	170	2,574	△1	2,573
			金融収益		309
			金融費用		△1,299
			税引前四半期利益		1,583

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレシジョン・ コンポーネント ビジネス	ブローア・ リアルエステイト ビジネス			
売上収益					
外部収益	52,129	633	52,762	—	52,762
セグメント間収益	△0	—	△0	0	—
連結収益合計	52,129	633	52,762	0	52,762
セグメント利益	775	116	891	0	891
			金融収益		280
			金融費用		△1,978
			税引前四半期利益(△損失)		△807

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。